

## 要 旨

本稿では、横浜市史資料室における歴史的公文書の公開という課題を中心に、横浜市史資料室の設置目的や日常業務、歴史的公文書に関する業務の現状と課題、そして今後に向けての改善案を整理した。

はじめにでは、横浜市史資料室が設置されるまでの経緯にふれたうえで、筆者がこの論考をどの立場から書き進めるのかを明らかにした。

第1章では、横浜市史資料室の設置目的と日常業務について整理した。第1節では「横浜市史資料室の設置及び利用に関する要綱」から設置目的と業務の規定を確認した。第2節では、公益財団法人横浜市ふるさと歴史財団が公表している事業報告から、横浜市史資料室で日常的に行う業務を紹介し、そのなかでの歴史的公文書にかかわる業務の位置づけを整理した。

第2章では、歴史的公文書に関わる業務の現状と課題を確認した。第1節では、横浜市総務局行政改革推進部行政マネジメント課が担当している移管・選別業務の内容を概観した。第2節では、横浜市ふるさと歴史財団が行っている保存・公開業務を検討し、とりわけ所蔵資料の公開について問題が山積している状況を指摘した。

第3章では、歴史的公文書の公開業務を中心に、現在の業務の中でどのような改善の取り組みが可能であるかを検討した。第1節では横浜市史資料室の公文書館機能のうち公開業務を改善する必要性を指摘した。第2節では、歴史的公文書の目録を整備して公開する課題について確認した。第3節では、歴史的公文書の公開基準について現状を整理し、その運用をどのようにするかを考えた。第4節では、目録に所在を示した歴史的公文書をどのような形で閲覧に供するかを考察した。

おわりにでは、これまでの課題を整理するとともに、横浜市史資料室において歴史的公文書が市史資料とともに同じ場所で保存・公開されていることの意義をまとめた。また長期的には横浜市における公文書館の設置が必要であること、そのために公文書館機能を向上することで、より市民に開かれた施設にしていくことを今後の重要な課題とした。